

日本産業理学療法研究会機関誌 投稿・執筆規定

1. 本誌の目的

本誌は日本産業理学療法研究会の機関誌として、産業理学療法に関連する学術領域の研究成果の公表、情報交換および共有を行うことを目的とする。産業保健分野での理学療法の発展に寄与するため、基礎研究や職域をフィールドとした臨床研究から実務経験による好事例等も含めた幅広い範疇の投稿を受け入れる。

2. 本誌の名称

本誌は和名「日本産業保健理学療法学雑誌」、略式名「産業保健理学療法学」、英名「Japanese Journal of Physiotherapy in Occupational Health」、略記名「JJPOH」とする。

3. 記事の種類

記事の種類は次のとおりとし、日本語および英語での投稿を受け付ける。なお、記事の種類は、投稿後に編集委員会の変更を指示する場合がある。

- 1)研究論文(原著):新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。
- 2)短報:研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
- 3)症例報告:特異な問題を持つ症例の臨床経験や臨床的問題について、科学的手法により分析および考察された論文。実務で経験された好事例も含む。
- 4)活動報告:産業保健分野での活動を通して得られた知見の報告や活動の特徴および、そのプロセスと結果を示すことで、類似の活動を行う際の参考となる内容の報告。
- 5)調査報告:産業保健理学療法に関する実態調査などの報告でデータ自体が利用価値を有しているもの。
- 6)資料:本研究会の委員会などが集約した意見書、報告書、およびこれに準ずるもの。
- 7)その他:システマティックレビューなど、編集委員会に掲載が適切と判断された論文および記事。

	和文抄録	英文抄録	キーワード (和・英)	本文文字数 (和文論文)	本文ワード数 (英文論文)
研究論文 (原著)	要	要	5つ以内	14,000文字以内	4,000ワード以内
短報	要	要	5つ以内	7,500文字以内	2,000ワード以内
症例報告	要	要	5つ以内	10,000文字以内	3,000ワード以内
活動報告	要	要	5つ以内	10,000文字以内	3,000ワード以内
調査報告	要	要	5つ以内	10,000文字以内	3,000ワード以内
資料	要	不要	5つ以内	—	—

*本文文字数に、和文抄録、英文抄録は含めない。

*図表は、1つあたり400字として換算し、本文文字数(和文論文)から減じる。英文論文の場合は、図表でワード数は減じない。

4. 投稿者の資格

本誌への投稿は、本会に寄与する内容であれば、会員に限らず投稿を受理する。

5. 投稿依頼について

編集委員会の決定により、会員または会員外に投稿を依頼することがある。「総説」、「特別寄稿」、「講座」、「特集」などで扱う。

6. 投稿原稿の条件

投稿原稿は、国の内外および言語を問わず、他紙に掲載または投稿中ではなく、本規定に沿って作成されたものであること。

7. 原稿の採否

受理された原稿は、複数の査読者の意見を参考に編集委員会で採否を決定する。査読の結果、編集方針に沿って原稿の修正を求めることがある。

8. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を行うこと。また、倫理委員会の承認が必要となる研究に該当する場合には、当該施設の倫理委員会で承認済みであることを論文中に記載する(倫理委員会の名称、承認番号、承認日など)。著者の所属する機関において倫理委員会が設置されていない場合は、倫理委員会が設置されている他の機関に依頼することをもってこれにかえることができる。なお、倫理委員会より、承認の非該当となった場

合には、その旨を記載する。

症例・事例報告等については、倫理委員会の承認を必ずしも要しないが、対象者のプライバシーに十分に配慮し、個人情報保護に関する対応について明記すること。

9. 利益相反

著者全員の利益相反の有無およびその内容について、原稿中に記載すること。なお、利益相反に関しては一般社団法人日本理学療法学会連合が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること。

10. 著作権

本誌に掲載された論文および記事の著作権は、日本産業理学療法研究会に属する。また、本誌に掲載された論文、記事はオンライン公開される。

11. 校正

著者校正は原則として 1 回とし、誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認めない。

12. 審査料・掲載料

筆頭著者および共著者が公益社団法人日本理学療法士協会(以下、理学療法士協会)の会員の場合、もしくは他職種の場合は、審査料および掲載料ともに無料とする。理学療法士の免許を有する理学療法士協会の非会員の投稿には審査料と掲載料を徴収する。詳細は別紙に定める。なお、理学療法士協会の会員権利が停止している会員の投稿についても同様に審査料と掲載料を徴収する。

13. 論文の構成

論文の構成は、表題、著者名、要旨(和文、英文)キーワード、本文とする。

1) 表題:内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡素にする。原則として略語・略称は用いない。

2) 著者名:著者は当該研究・執筆に寄与する人を必要最小限に記載する。原則として審査開始後の著者の変更は認めない。

3) 要旨:「目的」、「方法」、「結果」、「結論」について項を分けて、和文要旨は 400 字以内、英文要旨は 250words 以内で簡素に記載する。ただし、研究論文(原著)、短報以外の記事の種類の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

4) キーワード:論文の内容を表すキーワードを 3 から 5 つ記載する。英文要旨のキーワードは、ア

ルファベット順とする。

5) 本文: 原則として, 以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし, 研究論文(原著), 短報以外の記事の種類別の論文においては, 著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに(序論, 緒言): 研究の背景, 臨床的意義, 研究の目的, 取り扱っている主題の範囲, 先行研究との関連性の明示などを記述する。

②方法: 用いた研究方法について, 第三者が追試できるように具体的に記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果: 研究で得られた結果を, 本文および図表を用いて記述する。

④考察: 結果の分析・評価, 今後の課題, 結論などを記述する。

⑤利益相反: 利益相反の有無について記載する。

⑥謝辞: 著者資格には該当しない研究への貢献者および助成金受給等について記載する。

⑦文献: 引用した文献を記載する。

14. 投稿フォーマットおよびカバーレター

投稿論文は, 投稿フォーマットおよびカバーレターに従って作成すること。投稿フォーマットおよびカバーレターは, 日本産業理学療法研究会のホームページよりダウンロードできる。

15. 原稿執筆時の注意

句点はピリオド(。)読点にはコンマ(,)を使用する。また, 必要に応じて, コロン(:)やセミコロン(;)を使用する。日本語の論文の場合は全角とし, 英語論文や引用文献(英語・日本語)などは, 半角 + 半角スペース(,) / (.) / (:) / (;)を使用する。記号の後ろは, 基本半角スペースを空ける。また, 本文および図表のタイトル・説明文には, 日本語は MS P 明朝, 英語は Times New Roman を使用し, 文字の大きさは 12 ポイントで作成する。

英語の論文については, 全て英語で作成し, 日本語の要旨をつけること。

数式記号(=, -, +, ±, ÷, ×, <, >, /)は, 前後に半角スペースを入れること。単位と数値の間には半角スペースを入れること。図・表内の「 γ (ガンマ)」, 「 α (アルファ)」, 「r(アール)」, 「p(ピー)」等も, 半角イタリック:斜体で統一すること。

本文中の項目について、以下の通りとする。

大項目：番号なし

中項目：1. 2. 3. …

小項目：1) 2) 3) …

16. 英文要旨および英語論文

日本語の論文の英文要旨については、論文投稿時に英文校正証明書を提出すること。また、英語の論文では、論文投稿時に図表を含めた論文全体の英文校正証明書を提出すること。

17. 図(写真を含む)・表

図・表は、図 1(Figure 1)、表 1(Table 1)など本文に出てくる順に一連の番号をつけ、図・表ごとに A4 用紙 1 枚に作成する。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上に記載する。図・表の説明文は図・表の後に頁を新たにして記載する。表は画像ではなく表データで作成し、縦線は使用しないこと。略語は必ず表の下 (footnote) に説明を加える。写真等の画像の解像度は、印刷が不鮮明にならない程度とすること。図・表の挿入位置は本文の右欄外に指示すること。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出すること。

18. 文献の記載方法

本文中の該当箇所の右肩に 1), 2)...の通し番号を付する。文献が複数ある場合、2 文献の時はコンマ(,) (例^{2,3})、3 文献以上の時はハイフン(-) (例⁴⁻⁹)を使用する。また、文献は本文原稿の最後に番号順に記載する。文献の著者が 3 名以上の場合、2 名連記の上、その他は「, 他」もしくは「, et al.」とする。なお、欧文雑誌名の省略は Index Medicus に従い、和文雑誌は公式の略称を使用する。記載方法は下記の例示による。

1)【雑誌】著者名：論文題目。雑誌名。発行年号(西暦)；巻：頁。

[例]宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程—Ten Step Test を用いて—。理学療法学。2008; 35: 35-41.

[例]Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928-935.

2)【単行本】著者名：書名。出版社、発行地、発行年号(西暦)、頁。

[例]信原克哉: 肩—その機能と臨床—(第 3 版)。医学書院, 東京, 2001, pp. 156-168.

3)【編集本】著者名: 書名. 編集者名, 発行所名, 発行地, 発行年号(西暦), 頁.

[例]名郷直樹: EBM の現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際.
内山 靖(編), 医歯薬出版, 東京, 2008, pp. 18-38.

[例]Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL
(eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins,
Philadelphia, 2006, pp. 97-112.

4)【訳本】著者名: 書名. 翻訳者名, 発行所名, 発行地, 発行年号(西暦), 頁.

[例]Burbank PM, Riebe D: 高齢者の運動と行動変容. 竹中晃二(監訳), 有限会社ブックハウス・
エイチディ, 東京, 2005, pp. 146-147.

5)【電子情報】引用元: タイトル. URL(閲覧日)

[例]厚生労働省ホームページ: 職場における労働衛生対策.

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anz_eneisei02.html (2022年3月20日引用)

19. 補足資料(supplementary material)

投稿時に, 記事に関する補足資料を提出することができる. 提出された補足資料は, 受付時と同様のファイル形式でオンラインに掲載され, 組み版されることはない.

20. その他

数量単位は原則として国際単位系(SI 単位)を用い, 長さ:m, 質量:kg, 時間:s, 温度:°C, 周波数:Hz 等を使用する. 略語を用いるときは, 初出のときに正式の用語(英語の場合はフルスペル)を使用し, 略語は()にて記載する. 機器名は, 「一般名称(製品名, 会社名, 国名)」, ソフトウェアは, 「ソフトウェア名(バージョン情報, 会社名, 国名)」とする.

21. 投稿前には投稿規定に沿って確認(特に数字, 英語, 句読点, 記号などの半角・全角など)してから投稿すること.

22. 投稿原稿一式は, ①カバーレター, ②投稿フォーマットに準じた原稿, ③投稿承諾書, ④利益相反自己申告書, ⑤英文校正証明書とする.

論文投稿・問い合わせ先

E-mail: journal@jspoh.jspt.or.jp

日本産業理学療法研究会 編集委員会

附則

1. この規定は, 2022 年 7 月 4 日より施行する.
2. この規定は, 2024 年 4 月 25 日から一部改訂する.
3. この規定は, 2025 年 2 月 8 日から一部改訂する.
4. この規定は, 2025 年 4 月 24 日から一部改訂する.
5. この規定は, 2025 年 11 月 19 日から一部改訂する.

日本産業理学療法研究会 編集委員会